

せりがやの輝く「蒼空」の下「風爽」かおる「丘陵」にたたずむ「陽溜」

お か せいがやの丘陵



町田第二中学校
サポートルームだより
2024年 7月号

暑い夏の到来です。まもなく夏休みとなりますが、保護者の皆様にとって一番気になるところは、お子様の勉強、成績のことではないでしょうか。テストが返却された時のお子さんの反応も千差万別。前回よりも点数が上がった！と喜んでいる隣で、自分よりも高得点を取っている子が落ち込んでいる、ということもあります。ご家庭の考え方がそれぞれあるように、学習者個人の習得の方法もそれぞれ違います。今月号はATI(Aptitude Treatment Interaction)「適性処遇交互作用」を取り上げます。それぞれが熱い夏になりますように、そして有意義な夏休みをお過ごしください。



ATI「適性処遇交互作用」とは…

適性とは「個人の特性、能力」、処遇とは「学習方法」で、学習成果というのは生徒と教身手両方の作用で決まるという考え方です。アメリカの教育心理学者、クロンバック(Cronbach)という人が1957年に唱えました。「能力に合った学習方法で勉強すれば期待どおりの成果が得られる」と言っています。

能力に合った学習方法とは、例えば大人がニュースを知り得る手段として、毎朝新聞を読むという人、テレビやラジオから流れる音で、何か他のことをしながら情報を得る人、またネットの動画ニュースで自分の都合の良い時間に検索するということが挙げられます。様々な「好み」があり、生活スタイルでも変化してきます。同じように子どもたちも、書いて覚えるよりも、耳や目から入った情報を覚える方が得意だという子がいます。このような子がいくらノートやプリントに書いて勉強してみても、思うような結果には至りません。自分に合った学習方法は何なのかを知ることが、成果が上がる第一歩となります。

学校というところは集団で学習をしていますから、どうしても一つの決まった教え方や速度、形態をとらざるを得ません。それでも先生は習熟度別の少人数授業やタブレット学習、映像授業を取り入れるなど、たくさんの工夫をしながら教えています。なかなか成績が上がらないとか、やる気がおきていないと感じた時には、「とにかく勉強しなさい」ではなく、お子さんに合った学習法(メソッド)と一緒に考えてみてください。そして夏の面談がありますが、積極的にアドバイスを求めることをお勧めします。どのようなメソッドが合っているのかを、一緒に考えていかれたらと思います。

サポートルームでは、生徒の特性に応じて、教材作成や指導を行っています。裏面に同じ問題を載せました。どちらの方が解きやすいですか。

* 参考・助言 * 鎌原雅彦・竹原誠一郎「やさしい教育心理学」有斐閣
公認心理師 最上 学「コラム ATI(適性処遇交互作用)」

適性処遇交互作用の教材例

下の二つの例題は、絵や写真などのほうが理解しやすい生徒と、文章で書いてあるほうが理解しやすい生徒用に分けて作成したものです。書いてあるものが違うだけで、“内容”と“結果”は同じです。

どちらのほうがやりやすいかぜひ試してみてください。

順位決定戦 ① -3

年 月 日

動物たちがかけこをしました。表彰台の順位から考えて、かけこが速い順番に番号をつけましょう。

A

() () () ()

B

() () () ()

Neuro-Cognitive Enhancement Training

月 日 ()

順位決定戦3 (言葉バージョン)

1) 次の文章を読んで、速い順に番号をつけましょう。

- ① ネコはゾウより速く、ライオンより遅いです。
- ② サルはゾウより遅いです。

() () () ()

2) 次の文章を読んで、速い順に番号をつけましょう。

- ① ゾウはライオンより速く、サルより遅いです。
- ② ネコはサルより速いです。

() () () ()